



一九九九年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)

〈サロン・あべの〉6月の出会い

平成15年6月21日(土)、〈サロン・あべの〉6月の出会いは、今年1月にオープンした「大阪市社会福祉研修・情報センター」で集合し、車に分乗して見学先へ向かう組と、現地集合組と合流。まず、エレベーターで5階まで上がり、講座室で企画部・管理調整課長の中川利樹としきさんに「大阪市社会福祉研修・情報センター」の概要などについてお話を伺いました。

平成15年6月21日(土)、〈サロン・あべの〉6月の出会いは、今年1月にオープンした「大阪市社会福祉研修・情報センター」で集合し、車に分乗して見学先へ向かう組と、現地集合組と合流。まず、エレベーターで5階まで上がり、講座室で企画部・管理調整課長の中川利樹としきさんに「大阪市社会福祉研修・情報センター」の概要などについてお話を伺いました。

「左写真(大阪市西成区出城2-5-20)」の見学会でした。長居障害者スポーツセンターで集合して、効率的・効果的に社会福祉の基盤整備を進めることを目的としている。

つまり、同センターは、福祉の仕事や活動をしているが、新しい知識やより高い技術を身に付けて自分の能力を高めた人、福祉の基本を学んで自分の経験を活動に活かしたい人の「学びたい」を支援する。

また、福祉のサービストってどんなものがあるんだろう？ そんな社会福祉に関する「知りたい」に答える。

・施設の概要

福祉人材の確保や社会福祉に関する各種情報の総合的な提供を事業の柱として、既存施設の北区の「社会福祉研修セン

人を育て、情報を活かすことで、誰もが安心して暮らせる「福祉のまち 大阪」をめざしている。

・五つの事業

① 福祉人材の養成

福祉研修センターの専門職のより一層の資



質向上のため、意識啓発や各種研修、介護実習など研修の企画立案などを実施。

② 福祉サービスの利用支援

福祉サービス利用者への情報提供や相談事業を実施。主に、ホームページの作成や情報誌「8181（ハイハイ）」の発行や福祉用具の情報、高齢者に関しての相談コーナーの設置など。

③ 調査研究

さまざまな社会福祉の活動が効率的・発展的になるものとして、福祉課題を継続的にまたはトピックス的なテーマとして取り上げ、調査研究を実施するとともに自主的な研究活動を支援する。

④ 高齢者生きがい就労支援

高齢者の求人・求職に関する無料相談に応じるとともに、就労を通じた生きがい作りや社会参加の促進をめざす。

⑤ 緊急通報受信事業

一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯などの緊急時の安全を確保するために、消防署をはじめとする関係先と連携を図りながら、緊急時に必要な対応を行う「緊急通報受信システム」を24時間体制で集中管理する。



中川課長

・施設の見学

5階の講座室で概要を伺った後、施設の見学をしました。

まず、同階の演習室、書庫、そして大会議室の見学。大会議室には、ボタン操作で大型スク

リーンやプロジェクターが出てきたり、窓のブラインドの開閉などの自動操作の設備が充実している。また、この大会議室は建物の真ん中に位置しており、床の下は4階から下が吹き抜けになっていた。

次に4階、調理実習室には、電磁調理器や車いす利用者でも対応できる高さ調節可能な調理台がある。また、介護実習室には湯船の高さが違うお風呂や、ベッド、和室など、日常生活に対応できる実践ができるようになっていく。

3階は、高齢者相談コーナーや高齢者生きがい就労センター、そして緊急受信室、24時間サポートラインなど、高齢者の抱く心配事や悩み事に対応する職員の方々が待機されていた。

2階には、図書・資料閲覧室があり、福祉に関する図書やビデオの貸し出しを行っている。また、落ち着いた雰囲気のあるミーティングコーナーがあり、そこでは、グループでの研究場所をも提供している。

そして、1階、エントランス。福祉機器が展示されているギャラリーとなっている。展示ギャラリーは、既存製品だけでなく、自主的に製作する福祉用具工房なども検討しているとのこと。

新しく出来た建物だけに講座室の床はコルク、各部屋のいすや車いす利用者のトイレなど、建物の設備はバリアフリーとなっている。エレベーターも箱の中が出入り口に向かって台形になっており、車いす2台が乗りやすい設計になっている。

新しい良い「モノ」ができてくると、その情報を得ることができるよう活用するかが大切であると感じた（サロン・あべの）

6月の出会いです。

（参加者9人 山村貴司）

誰でも参加できる場所へ

第14回

みんな実は
つながっていると感じました

林 典生

てしまわざるを得ないです。

いやいや、えらいことになってしまいました。

した。何だかんだと社会に影響を与えてしまいました。今後も「サロン・あべの」紙に書くのですねと聞かれたので、ご相談いたしますとお話をしましたが、どうしようかなあと考えております。

その前日にすごく良い天気の下で、龍谷大学の社会人講座の受講生と一緒にキュウリやシシトウ等の夏野菜を植えて、その中で、受講生の方々にいろいろと話をしながら進めていったので、結構、大変でしたが、最終的には、皆さんに喜ばれていました。

それと同時にディアレストのメンバーの方々は開所式の準備でおおわらわだったので、農園活動には参加できてなかったのです。その講座が終わった後でディアレストの代表と話をしていたのですが、結構、慌てている状況の中で打ち合わせをしました。その中で私自身は明日のことで少し不安になりました。

しかし、その開所式の時にメンバー全員で植樹を行っていた時に、その前の時に八幡市の助役を筆頭に偉い方々がこられてい

て、かなり緊張していたのが、笑顔でほんでいきました。

ところが、その植樹を行った後で話をしていた私が地域のケーブルテレビに映っていることや偉い方々を前にしてえらい緊張をして、頭が真っ白になり、何をしゃべったのか分からない状態になってしまいました。

その後で、ハーブを用いた料理を食べたり、草花の寄せ植えを行ったりしました。その中で、八幡市を中心に自立支援センターを行っている人と話をし、「今までの余暇支援はスポーツが中心だったが、今後は文化的な活動についても支援をしていくのは面白いですね。」と語っていたので、少しはほっとしました。

片付けている時に、メンバーの方から今日は面白かったよと言われて、ようやく私自身は落ち着くことが出来ました。しかし、みんないるんなところにつながっていて、これぞ本当の人に間と書いて人間と思えました。その間をつなぐ一つとしてサロンであり、ガーデンであると感じました。

ここで、重大な話をいたします。第12回に掲載しました京都府八幡市にあるディアレストの方々から「サロン・あべの」紙を見ましたと言われてしまいました。

これは「サロン・あべの」のメンバーの知り合いが実はディアレストのメンバーの知り合いになっていたことです。それも、5月の最終日曜日に行われましたディアレストの開所式の時に聞かされました。

それも最初に掲載されたところから最新号まで持っているのを見ると私自身驚くとともに、いろいろと雑文を書いているのですが、結構役に立っているのやなあと感じ

知識と記憶と年齢について

記憶という点からいえば、人間の頭は底に穴のあいたバケツのようなものだ。ほうっておけば、どんどん穴から水が出ていつてしまい、やがては空になる。空にしないためには、また新しい水を入れなければいけない。新しい水を入れ続けることが、水を貯める唯一の方法なのだろう。

しかし、年をとってくると記憶力も落ちて、いわば、そのバケツの底の穴が大きくなってくる。視力も低下し、本を読むとすぐ疲れるようになるから、バケツに水を入れる勢いも弱くなる。したがって、あれよあれよと言う間に、バケツが空になってしまうわけだ。

単純なことを理解するときには、それでもかまわない。ひとつのことを理解するのに、そのことを記憶すれば充分だからだ。しかし、複雑なことを理解するには、その前提にあることも知っておかなければいけない。つまり、ひとつの複雑なことを理解するた

めには、たいへん多くのことを同時に知っておかなければいけない。これは記憶力に限界があるときには非常に難しくなる。

というのも、知識はピラミッドのように組み立てられているのである。高い石になればなるほど多くの数の石に支えられているように、高度な知識になればなるほど、その理解には多くの基礎知識が求められる。

たとえば、ある知識は五つの知識があれば理解できるが、それより高度な知識は五十の知識がないと理解できない。さらに高度な知識は理解しようとする者に五百から五千の知識を求める。これは、その五百から五千の知識を同時に頭のなかに入れていなければ、高度な知識は理解できないということを意味する。

しかし、五百から五千の知識を同時に頭のなかに入れておくためには、たいへんな努力がいる。なにしろ、バケツの底には大きな穴が開いている。知識はどんどん流れ落



ちて消えていく。記憶している知識は日々失われていくのだから、今日は理解できることも明日には理解できないかもしれない。底辺の部分の知識がいくつか欠けたら、知識のピラミッドは容易に崩れてしまうからだ。

とすれば、人は年をとり、記憶力が衰えたら、その分だけますます記憶の作業に力を

好評のエッセイ

岡 知史著

知らされない 愛につて 700円	ほんの少しの 神に近い部分 700円
------------------------	--------------------------

尽くさなければいけないということだ。なにしろ忘れるスピードは年齢とともに加速しているのだから、それを補うほどの努力が必要なのである。
 ただ若い人たちに比べて有利な点は、いろんなどころに目移りしないということとろだろうか。さまざまな経験を経て、自分に残された可能性が見えてきている。労力を集中しさえすれば、あと一段、高い知識にも手が届きそうなのだ。
 (知)

梅雨が明けると一気に暑くなり、本格的な夏を迎えます。そうなるとじっとしていても全身が汗ばむほどになり、涼しい小影やクーラーの効いた部屋にかけ込みたくなります。

この時季は、また海水浴のシーズンでもあります。今は海の水もだんだん汚れ、海水浴場も少なくなってプールで泳ぐのが主流になりました。最近はすっかり御無沙汰ですが、私は幼い頃によく堺の大浜海岸へ泳ぎに行ったものです。身体が不自由なので一人で泳ぐことはできませんが、父や母に手を持ってもらって浅瀬で足をバタバタさせていました。それだけでも私にとって泳いだ気分になりました。時々、大きな波を頭からかぶり、いやとい

うほど塩からい海水を飲んだことが、今でも忘れられません。私は「海」とは切っても切れない縁にあります。それといい

晴れのち晴れ 58

海
稲垣恵雄



ますのも誕生日が7月20日の「海の記念日」だからです。7月20日といえば、また「土用の入り」で1年中でもっとも暑いときです。真冬でも汗かきの私ですが、それは誕生日のせいかも知れませんね(そんなことカンケイないって!)。

ところで「海」といえば、広々とした水のたたえた所や青い水の

上にヨットが浮かんでいる様子など、いろんなことが連想されます。

こうした中でも特に、母の深いふところに抱かれ、ほかほかと温もりを感じるような、「海」が私は大好きです。

植物あれこれ

54

山口康二郎

園芸家は罰当たり

いきなりシヨッキングな題を付けましたが、これは私が尊敬する園芸家で大阪テクノホルティ園芸専門学校の名誉校長でもある妻鹿先生の著書に出てくる言葉です。植物は本来、生きる力を持っており、育てなくても育つものです。

もともと植物は人間とは全く別に生きている生き物である。園芸とは人間の都合と植物の都合の妥協点を見つけていることであり、人が植物を「つくる」のではなく、人と植物の「付き合い」である。園芸に必要な知識は

「育て方」ではなく、植物の「育ち方」を知ることである。

人間の都合だけを考えて行う園芸は植物を玩具にしていると、厳に戒めておられる。私にとつても耳の痛い話です。可愛がっているつもりが、果たしてその植物には迷惑なことをしていないだろうか、いろいろ思い当たることがあります。

梅雨明けの頃の植物にとつては最も苛酷な環境になります。本来は野や山に育っていたものを、小さな鉢に植え込むこと自体が植物にとつては迷惑この上ないのに、かんかん照りのコンクリートの上で大阪の夏を迎えるのは大変なことだと思います。鉢植えの夏ばて防止策を講じるのは人間の努めです。その2、3例を挙げます

- ・コンクリートに直接置かないで、箆の子やブロックなどで高くし、風通しをよくする。

- ・植え鉢より、一回り大きな鉢に入れ、底や間に軽石や発砲スチロールを入れ、重層構造にする。

- ・鉢の周囲に水をまき温度を下げる。
- ・寒冷紗や葦簀で遮光をしたり、半日陰に

して風通しの良いところに置く。などです。

うっかり水を忘れて枯らしたりすれば、それこそ「園芸家は罰当たり」と言われても返す言葉ありませんね。



ありがとうございます。

カンパ、切手・簡易封筒・バザー用品のご寄贈、サロングッズのお買い求めなど、ありがとうございました。(敬称略・順不同)

植松菊雄、岡賀寿子、奥田久子、西面壮一、セルフ社、辻本浩江、藤谷充代、H・H(西成区)、道川内喜美子、三宅日出子、その他の方々。

地域で共に育つ

小・中学校に行っている子どもたちが、身近にいないので今の子どもが置かれている立場を全く知りません。今の子どもたちは学校と塾通いで遊ぶ時間もないと言われていた世間の声をそのままに受け止めていました。ところが、地域で子ども関係の活動をしている方から「学校が終わってから、何をしようか。どこに行こうか・・・」と思っている子どもたちがいて、親たちもどこか集まる場所はないかと考えている」と聞きました。塾やお稽古事だけでなく、なんにもしなくてもふらっと立ち寄れる場所、親も子もなんの気負いも気遣いも持たずに過ごせる場所があればと言っておられました。私の子どもの頃は時間の経つのが遅くて、退屈な時間が永遠に続くような気になる時がありました。でも、そんな時でも近所の子どもたちの遊ぶ声が聞こえていて、時間の流れは実感できました。しかし、今はその子どもの声が身近で聞かれません。地域で子どもたちが育つということは、子どもたちが声を掛け合える場所が地域にあればこそと思われれます。以前は、近所周りで遊ぶ子どもたちがいて、それを見守る大人たちの目もあったと思います。今は、家の前で遊んでいても安心できない環境になってきました。これからは、やはり安全で自由に遊べる場所が必要になってくるのではと思いました。(け)

.....さきみみずさん

「福祉ホームあいえる」が完成します！
これまで、障大連とライフ・ネットワークなどの地域の障害者団体と共に準備を進めて来た「福祉ホームあいえる」が西成区に完成

ドとして一人暮らしや、グループホームへの生活に移っていただきます。
入居定員数は10名ですが、当初は7名でスタートします。日中はそれぞれの生活パターンで各作業所に行ったり、デイサービスを利用

「福祉ホームあいえる」
大阪府西成区天神ノ森2-9-18
電話06-6656-1785
06-6656-1786 (FAX兼用)

美智子のこんな話

岸田美智子

します。
この福祉ホームは、在宅や、施設から地域での自立生活を目指す障害者の皆さんがステップの場として運営していきます。入所期間は3年をめ

用したり、一人一人その人らしい生活で暮してゆきます。
ぜひ、皆さんも一度見学に来てください。この「福祉ホームあいえる」をステップとして、一人でも多くの障害者の方が地域での自立生活を実現して欲しいものです。なお、見学に来られる場合は、前もってか

お知らせ

<サロン・あべの> 8月の出会い

内容: バザーの店「さろん亭」を開店
 サロングッズや、お買い得の品
 をそろえて、みなさまにお会い
 できるのを楽しみにお待ちしております。

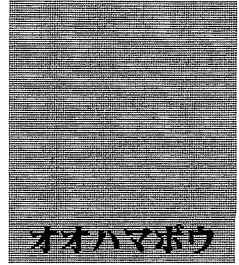
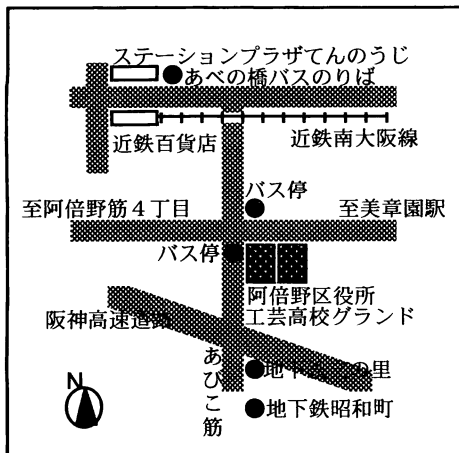
日時: 8月3日(日) 午後3時~6時
 場所: あべのカーニバル
 なんでも市会場

大阪市阿倍野区文の里1-1-40
 阿倍野区役所裏、工芸高校グ
 ランド

交通: 地下鉄御堂筋線
 「昭和町」駅北へ10分
 地下鉄谷町線
 「文の里」駅北へ5分
 市バス・赤バス
 「阿倍野区役所」停留所前

問合せ先: ☎06-6691-1028 (富田慶子)

*お願い: ご家庭で眠っている品物があ
 りましたら、ご提供よろしくお願いま
 す。



オオハマボウ

長雨に閉口気
 味わい方を拝読しなるほどと。

味、しかし慈雨

と思えば、田を

見れば青々と成

長している稲、

草花も木も生き

生きとしてい

んか。

いつもきちんと「サロン・あべの」紙をお

届けくださいますありがとうございます。

呼吸を整えながらする太極拳、中国茶の

味わい方を拝読しなるほどと。

「ききみみずきん」の慶子様「立ち話」本

当に優しい気持ちで障害者の方々に接した

いと思えます。

「植物あれこれ」を見ている間に一寸書き

たくなりました。

オオハマボウ。沖縄や奄美地方の呼び名

は、ユーサ。海辺近くの沖積土「ユナ」に生

え、上品な花を咲かせる。ハイビスカスやフ

ヨウと同属で、花は径10センチと大きい。材

は柔らかいが樹皮は強靱。かつてポリネシ

という布を得た。ロープもなう。花は秋篠
 宮佳子さまのお印。白浜にも咲いていま
 す。

奥田真祐様がCD「芭蕉布」とともに

入っている「ゆうなの花」素敵な歌です。黄

色のかれんな花、今から八月ごろまで次々

と咲きます。御坊市では天然記念物に指定

されています。失礼しました。

同封のカンパ少々ですが、お茶代にでも

お使いくださいませ。

7月3日

東 百合子



SALOON

読者ニュース

■「サロン淀川」8月の出会い

日時：8月17日(日)午後1時30分～4時
内容：「折り紙で遊びませんか」

折り紙って夢中になりますよ。

パネラー：谷幸夫氏とおもちゃグループ
大阪市シルバーボランティアアドバイザー
おもちゃグループ

場所：淀川区民センター「やすらぎ」
大阪市淀川区三国本町2-14-3

会費：なし

問合せ先：淀川区社協(ボランティア・ビューロー)
☎06-6394-2900

E-mail: sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・ひらの」8月の出会い

日時：8月23日(土)午後1時～

内容：カキ氷

場所：「にこにこセンター」
大阪市平野区平野東2-1-30

会費：500円

問合せ先：安達 ☎070-5931-5299
高橋 ☎090-4497-0635

■「サロン・にし」8月の出会い

日時：8月9日(土)午後2時～4時

内容：みんなでおじゃみを楽しみましょう!

場所：西区在宅サービスセンター6階ビューロ室
大阪市西区新町4-5-14

会費：なし

問合せ先：関口 ☎090-4281-5641

■「サロン「アイ」8月の出会い

日時：8月9日(土)午後1時30分～4時

内容：知的障害者の地域での暮らし

パネラー：田中克典氏(たびだち共同作業所)
平山周平氏(たびだち共同作業所)

場所：「おかちやま」
大阪市生野区勝山北3-13-20

会費：なし

問合せ先：生野区社協(ボランティア・ビューロー)
☎06-6712-3101

■「サロン「アイ」7月の「小さな旅」

行先：服部緑地 ぼらぼら
(誰でも自由にご参加ください)

日時：7月27日(日)午前9時30分集合、
雨天中止

集合場所：近鉄上本町 1階改札口前

持参するもの：弁当・飲み物・雨具・シート

申し込み締め切り：7月25日

(☎・FAX06-6757-8574西浦清輝)

■「てくてくすみよし」8月の出会い

日時：8月3日(日)午後1時～3時

内容：「さをり織りの魅力と可能性」

パネラー：村上紀子氏

場所：「あびさん・サロン」
大阪市住吉区我孫子3-10-16

☎090-3057-2064

会費：未定

申し込みと問合せ先：山本篤江 ☎06-6692-8411

■「サロン・つるみ」8月の出会い

日時：8月3日(日)午後1時30分～4時

内容：「応急手当を身につけよう」(いつでもどこでも、正しい応急手当ができるように)

パネラー：窪田新一氏

(応急手当普及員 大阪市消防局長認定)

場所：鶴見会館2階
大阪市鶴見区横堤5-5-51

会費：なし

問合せ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)
田村 ☎06-6913-7070

■「サロン・にしよど」8月の出会い

日時：8月23日(土)午後1時30分～3時30分

場所：西淀川区在宅サービスセンター「ふくふく」
大阪市西淀川区千船2-7-7

内容：未定

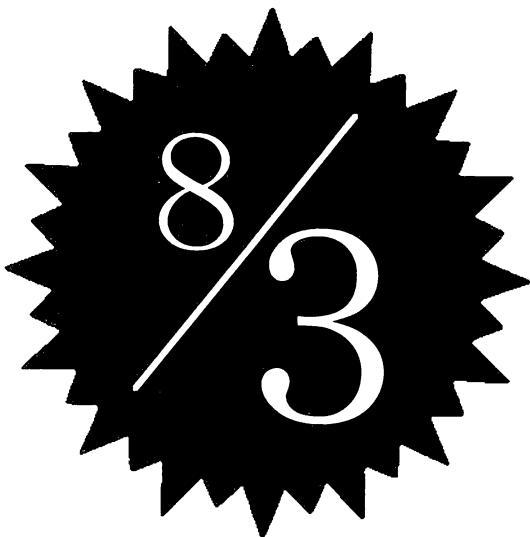
問合せ先：西淀川区在宅サービスセンター

☎06-6494-0635

中本 ☎090-4494-0635

■「サロンいたみ」8月はお休みです。

来
て
！
買
い
に



「さろん亭」の売り上げは、<サロン・あべの>の活動資金になります。みなさんおそろいで8月3日「さろん亭」へ買いにきてください。

さろん亭

あべのカーニバル
なんでも市通り

連絡先 富田慶子 545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL/FAX 06-6691-1028

寄りみち



お知らせとお願いを二つ。□「サロンの絵はがき」の新しい<花シリーズ>（第4集）が出来ました。もくれん・クリスマスローズ・マーガレット・かき・みかんが清楚な色合いで描かれています。□カレンダーの8月3日（日）のところに、「さろん亭」と書き込んでください。あべのカーニバルの「さろん亭」へ買い物に行く日です。そうなんです、忘れないでごいっしょに来てくださいね。（石）

<サロン・あべの>VOL. 205 発行：平成15（2003）年7月19日 定価¥100
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子
事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212
本紙はホームページでもお読みいただけます。書庫は、<http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/>

九九一年九月三日第三種郵便物認可（毎日発行）